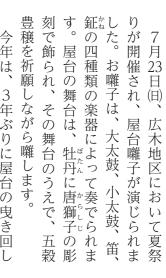
駒本の伊勢音頭

○ 7月22日出、稲荷神社において、駒衣の伊勢音頭は、30~50年前で、まりた。駒衣での伊勢音頭が演じられました。駒衣「月22日出、稲荷神社において、駒」 言われており、手拍子や四つ竹に拍子ちによって伝えられたのが始まりだと りの土産に踊りを習い覚えてきた人たの伊勢音頭は、30~40年前に、伊勢参 りを奉納して祈願します。 うに」「悪疫が流行しないように」 をあわせて「秋の五穀が豊作であるよ

セー」の囃子ことばが響き渡る中、 くの参加者で賑わいました。 この踊りの特徴である「ヤ







木の街中をねり歩きました。が演奏され、曳き手を鼓舞しながら広曵き回す間、途切れることなくお囃子 が行われ、多くのかたが参加しました。 今年は、3年ぶりに屋台の曳き回し



























猪俣の百八燈

猪俣地区において、

伝統行事です。猪俣地区内の満6歳か化財に指定されており、⑩年以上続く猪俣の百八燈は、国指定重要無形文俣の百八燈が行われました。 色です。 組に分かれて行事を取りしきるのが特 親方・次親方・後見・若衆組・子ども ら満18歳までの青少年が中心となり、

が灯され、 **幻想的な光景が広がりまし** 堂前山にある百八の塚に火





